

# 第3期中期目標期間業務実績報告書

(平成23年度～平成27年度)

(資料編)

平成28年6月

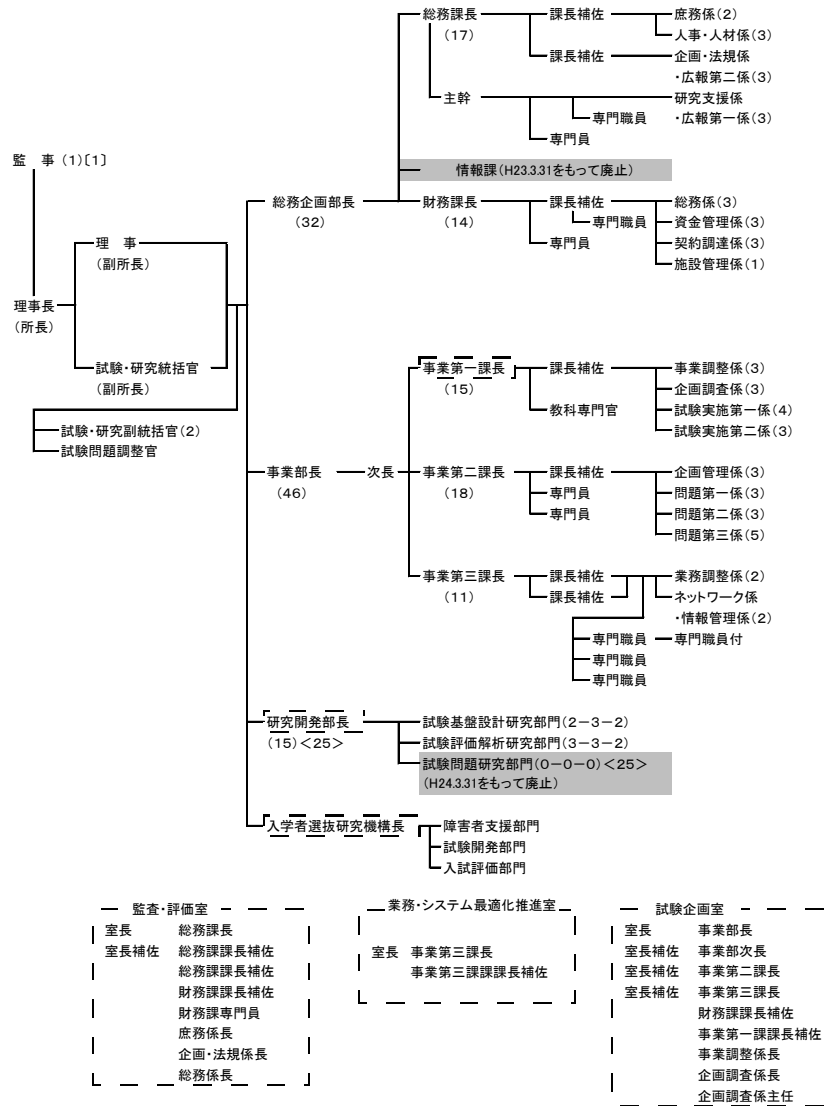
独立行政法人大学入試センター

# 目 次

資料 1	機構図	1	資料 14	独立行政法人大学入試センター人事基本計画について	19
資料 2	各種委員会の名称・目的・構成等一覧	4	資料 15	監事監査のチェック体制図	20
資料 3-①	教科科目第一委員会委員の構成等一覧（平成 23～27 年度）	6			
資料 3-②	教科科目第一委員会部会別開催日数等一覧（平成 23～27 年度）	6			
資料 4-①	教科科目第二委員会委員の構成等一覧（平成 23～27 年度）	7			
資料 4-②	教科科目第二委員会部会別開催日数等一覧（平成 23～27 年度）	7			
資料 5	大学入試センター試験受験者数・平均点の推移（本試験）	8			
資料 6	試験問題評価委員会の分科会別委員構成一覧（平成 23～27 年度）	9			
資料 7	大学入試センター試験（本試験）の試験問題の評価について	9			
資料 8	東日本大震災による被災志願者への対応	11			
資料 9	平成 24～28 年度大学入試センター試験受験上の配慮許可者数	12			
資料 10	調査研究成果の発表	13			
資料 11	研究成果への評価：学会等からの受賞	14			
資料 12	全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会の概要	15			
資料 13	独立行政法人通則法に基づく情報公開実施状況	16			

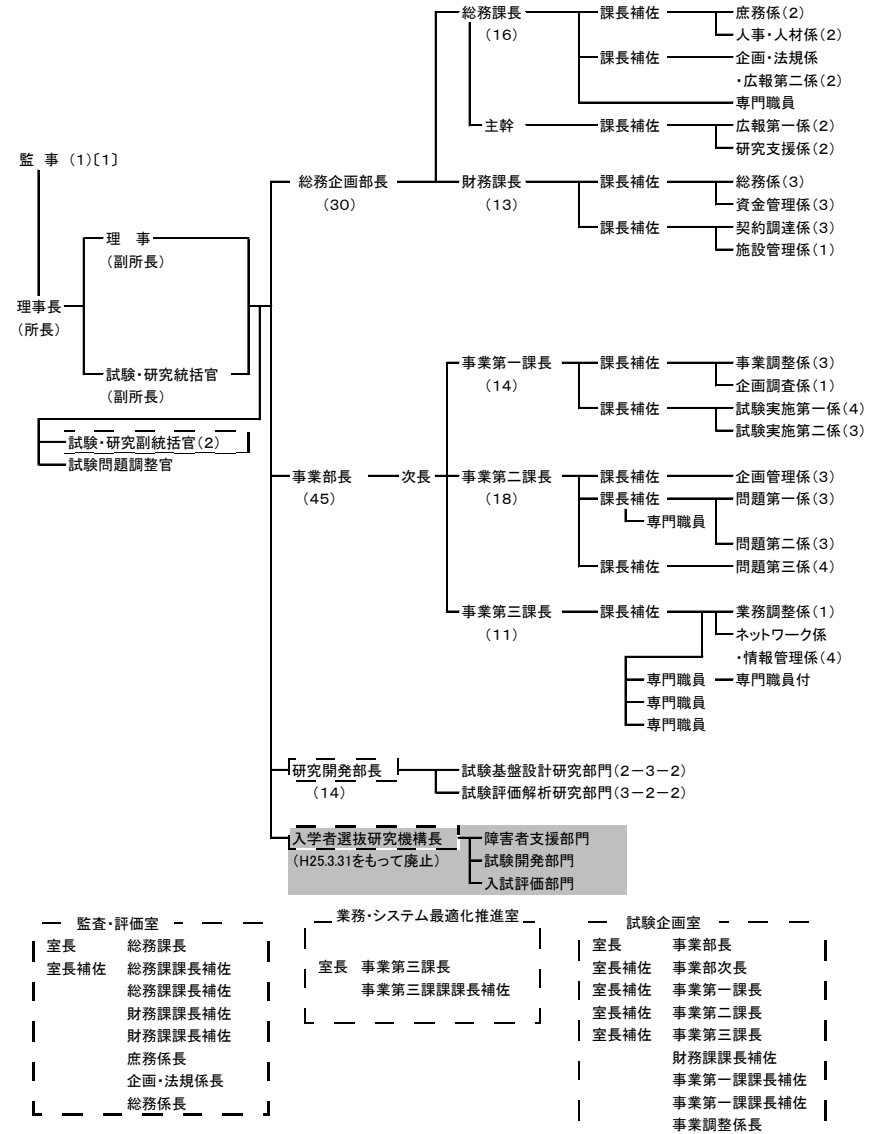
【資料 1】

① 機構図（平成 23 年 4 月 1 日現在）



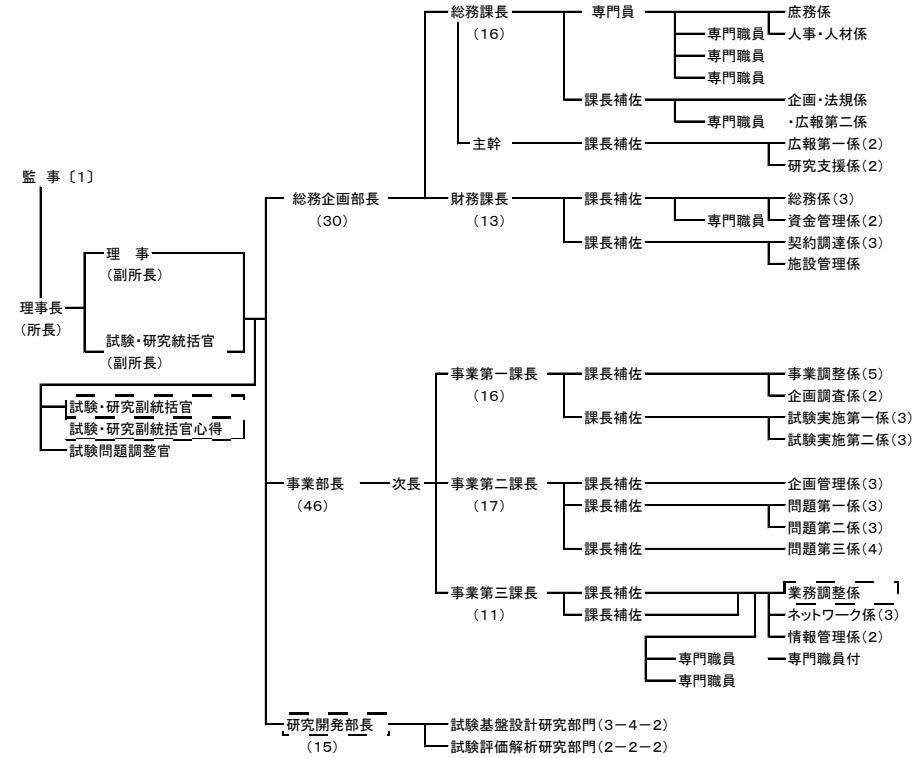
(注) 1. ( )内は、常勤職員数を示す。  
 2. 研究開発部内の( )の数字は、(教授—准教授—助教)の人数を示す。  
 3. < >内の数字は、客員教員数を外数で示す。  
 4. [ ]内は、非常勤役員数を外数で示す。  
 5. [ ]内は、兼務を示す。

② 機構図（平成 24 年 4 月 1 日現在）



(注) 1. ( )内は、常勤職員数を示す。  
 2. 研究開発部内の( )の数字は、(教授—准教授—助教)の人数を示す。  
 3. [ ]内は、非常勤役員数を外数で示す。  
 4. [ ]内は、兼務を示す。

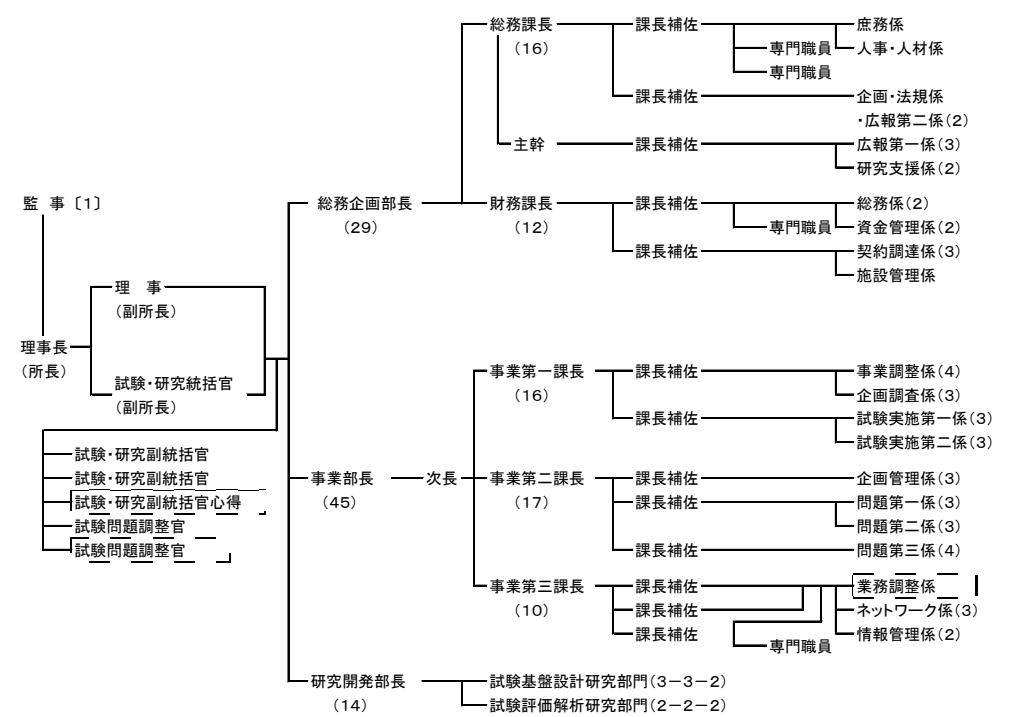
③ 機構図（平成 25 年 4 月 1 日現在）



<p>— 監査・評価室 —</p> <p>室長 総務課長 室長補佐 総務課専門員 総務課課長補佐 財務課課長補佐 財務課課長補佐 庶務係長 総務係長</p>	<p>— 入学者選抜研究に関する調査室 —</p> <p>室長 試験・研究統括官 室長補佐 研究開発部教授 試験・研究副統括官 総務企画部長 特任准教授 特任助教</p>	<p>— 業務・システム最適化推進室 —</p> <p>室長 事業第三課長 事業第三課課長補佐</p> <p>— 試験企画室 —</p> <p>室長 事業部長 室長補佐 事業部次長 室長補佐 事業第一課長 室長補佐 事業第二課長 室長補佐 事業第三課長 財務課課長補佐 事業第一課課長補佐 事業第一課課長補佐 事業調整係長</p>
--	---	---

(注) 1. ( )内は、常勤職員数を示す。  
2. 研究開発部内の( )の数字は、(教授—准教授—助教)の人数を示す。  
3. [ ]内は、非常勤役員数を外数で示す。  
4. [ ]内は、兼務を示す。

④ 機構図（平成 26 年 4 月 1 日現在）



<p>— 監査・評価室 —</p> <p>室長 総務課長 室長補佐 総務課課長補佐 総務課課長補佐 財務課課長補佐 財務課課長補佐 庶務係長 総務係長</p>	<p>— 入学者選抜研究に関する調査室 —</p> <p>室長 試験・研究統括官 室長補佐 試験・研究副統括官 研究開発部長 総務企画部長 研究開発部助教 特任准教授 特任准教授 客員教授 客員教授 客員准教授</p>	<p>— 業務・システム最適化推進室 —</p> <p>室長 事業第三課長 事業第三課課長補佐</p> <p>— 試験企画室 —</p> <p>室長 事業部長 室長補佐 事業部次長 室長補佐 事業第一課長 室長補佐 事業第二課長 室長補佐 事業第三課長 財務課課長補佐 事業第一課課長補佐 事業第一課課長補佐 事業調整係長</p>
---	---	---

(注) 1. ( )内は、常勤職員数を示す。  
2. 研究開発部内の( )の数字は、(教授—准教授—助教)の人数を示す。  
3. [ ]内は、非常勤役員数を外数で示す。  
4. [ ]内は、兼務を示す。



## 【資料2】

## 各種委員会の名称・目的・構成等一覧

名 称	目 的	構 成
運営審議会	センターの事業計画その他重要事項について、理事長の諮問に応じて審議する。	・25人以内（大学の学長・教授、学識経験者、高等学校等関係者） ・年2回程度、各1日
大学入試センター試験等の改善に関する懇談会	センター試験の改善及び充実のための方策並びにセンターが果たすべき役割等について意見を聞く。	・20人以内〔国立大学関係者、公立大学関係者、私立大学関係者、学識経験者、高等学校等関係者〕 ・年2回程度、各1日
試験企画委員会	次の事項を調査審議する。 ・センター試験の実実施計画、出題教科・科目、出題範囲等の基本方針の策定 ・センター試験の問題の文章表現、構成、出題方法、解答方法等の一般的原則を定める問題作成要領の策定 ・その他理事長が特に必要と認める事項	・25人以内（試験・研究統括官、大学関係者、学識経験者、実施方法委員会委員長、教科科目第一委員会委員長及び副委員長、試験・研究副統括官、その他） ・年2回程度、各1日
新教育課程試験問題調査研究委員会	新しい高等学校学習指導要領に対応した次の事項を調査研究する。 ・試験問題作成の基本方針に関する事項 ・試験問題の出題範囲、内容、程度等に関する事項 ・解答用紙の様式に関する事項 ・試作問題の作成に関する事項 ・その他理事長が必要と認める事項	・250人以内〔21研究部会×12人程度（試験・研究統括官、試験・研究副統括官、教科科目第一委員会経験者、学識経験者、その他）〕
実施方法委員会	センター試験の実施等に関して、次の事項を処理する。 ・試験の実施方法の基本方針の策定及び実施方法に関すること ・試験に関する情報処理の基本方針の策定及び情報処理に関すること	・25人以内（大学関係者、高等学校関係者、教科科目第一委員会委員長、その他） ・年4回程度、各1日
配慮事項審査・検討委員会	・15人以内（実施方法委員会委員、教科科目第一委員会特別問題作成部会に属す委員、その他） ・年3回程度、各1日	・15人以内（実施方法委員会委員、教科科目第一委員会特別問題作成部会に属す委員、その他） ・年3回程度、各1日
教科科目第一委員会	センター試験の問題等に関して、次の事項を処理する。 ・試験の問題作成の基本方針の策定及び問題の作成に関すること ・試験の問題作成に関し、教科・科目間の調整に関すること	・520人程度〔教科・科目別23部会×23人程度（大学関係者、高等学校関係者）〕 ・年15回程度、各3日
教科科目第二委員会	教科科目第一委員会が作成した問題について、その構成、内容、解答及び用字用語等の点検・照合を行う。	・150人程度〔教科・科目別20部会×8人程度〕 ・年4回程度、各3日

名 称	目 的	構 成
教科科目第三委員会	教科科目第一委員会が作成した問題について、形式、表現及び各科目間の整合性、重複等を総合的に点検・照合する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30 人以内（試験・研究統括官，試験・研究副統括官，大学関係者，その他）</li> <li>・ 年 5 回程度，各 4 日</li> </ul>
点検協力者	試験問題の難易度及び出題範囲に関し、専門的立場から点検を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 60 人程度〔各科目 2～3 人程度〕（高等学校等関係者）</li> <li>・ 年 2 回程度，各 3 日</li> </ul>
試験問題評価委員会	試験問題の内容、程度、出題方法等について評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 150 人程度〔試験・研究統括官，参与，教科科目第一委員会の各部長及び副部長（特別問題作成部長を除く）〕，高等学校関係者 95 人以内〕</li> <li>・ 年 2 回程度，各 2 日</li> </ul>
国語出典データ作成委員会	センター試験の問題の円滑な作成及びその内容の質的向上等に資するため、次の事項を処理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各国公私立大学の入学試験問題の国語の出典データの整理</li> <li>・ 入力データの審査</li> <li>・ その他データベースの作成に当たっての専門的事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 人以内（センター教員，教科科目第一委員会委員経験者，学識経験者等）</li> <li>・ 年 1 回，5 日</li> </ul>
得点調整判定委員会	センター試験の結果における得点調整の要否を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 人以内〔大学入試センター試験協議会の構成員（国立大学 4 人，公立大学 2 人，私立大学 3 人）〕</li> <li>・ 年 1 回，1 日</li> </ul>
得点調整判定専門委員会	専門的な立場から試験の結果を分析・整理し、得点調整の要否の判定に必要な基礎資料を準備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 人以内（センター教員 4 人，学識経験者 7 人）</li> <li>・ 年 1 回，1 日</li> </ul>
全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会	全国大学入学者選抜研究連絡協議会の企画実施に係る具体的事項を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 25 人以内</li> <li>・ 年 3 回，各 1 日</li> </ul>

## 【資料3】

## ① 教科科目第一委員会委員の構成等一覧(平成23～27年度)

部会名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
国語	20	20	20	27	27	
世界史	22	22	22	33	34	
日本史	22	22	22	32	32	
地理	24	24	24	37	29	
現代社会	21	21	20	28	28	
倫理	26	26	25	34	34	
政治・経済	18	19	20	28	29	
倫理, 政治・経済	(44)	(45)	(45)	(62)	(63)	
数学Ⅰ	15	15	17	17	14	
数学Ⅱ	17	17	20	17	15	
工業数理基礎	8	8	8	8	4	
簿記・会計	11	11	11	10	10	
情報関係基礎	21	20	20	21	21	
理科総合A	16	16	16	9		
理科総合B	17	17	17	9		
物理	16	16	29	29	20	
化学	18	18	31	31	24	
生物	16	16	28	30	22	
地学	18	18	34	34	24	
英語	筆記	21	21	21	30	30
	リスニング	16	16	17	20	19
ドイツ語	15	15	14	19	19	
フランス語	14	14	14	19	19	
中国語	15	15	15	19	19	
韓国語	15	15	15	20	18	
特別	23	23	23	25	26	
合計	445	445	503	586	517	

※ 「倫理, 政治・経済」部会は, 「倫理」部会と「政治・経済」部会の委員で構成しており, 「合計」欄には計上していない。

## ② 教科科目第一委員会部会別開催日数等一覧(平成23～27年度)

部会名	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		
	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	
国語	14	47	14	47	14	47	14	49	14	50	
世界史	14	49	14	49	14	49	14	52	14	52	
日本史	13	41	13	41	13	41	13	41	13	41	
地理	14	62	13	66	13	65	14	61	15	65	
現代社会	13	55	13	59	13	56	16	56	13	52	
倫理	13	46	13	47	13	47	14	47	15	48	
政治・経済	15	48	14	52	15	46	20	56	17	52	
倫理, 政治・経済	(8)	(8)	(8)	(8)	(9)	(9)	(9)	(9)	(10)	(10)	
数学Ⅰ	15	44	15	44	15	44	17	49	15	45	
数学Ⅱ	14	44	14	44	14	43	16	48	14	45	
工業数理基礎	15	41	15	40	14	37	11	32	7	19	
簿記・会計	16	46	15	43	15	44	16	48	16	49	
情報関係基礎	12	37	13	38	13	39	15	45	14	42	
理科総合A	13	39	13	39	13	39	8	21			
理科総合B	13	39	13	39	13	39	8	21			
物理	13	40	13	41	18	49	16	47	14	43	
化学	14	42	14	43	20	59	14	46	14	44	
生物	13	40	13	42	18	67	15	46	14	43	
地学	12	38	12	39	19	54	13	41	14	43	
英語	筆記	13	40	13	40	13	39	13	39	13	39
	リスニング	16	46	14	47	14	45	16	45	17	47
ドイツ語	13	38	13	37	13	37	13	37	13	37	
フランス語	11	36	12	37	12	38	12	38	12	38	
中国語	13	40	14	41	14	41	14	41	14	41	
韓国語	13	41	13	40	13	40	13	40	13	40	
特別	15	39	13	35	14	39	15	39	20	52	
合計	340	1,078	336	1,090	360	1,144	350	1,085	325	1,027	

※ 「倫理, 政治・経済」部会は, 「倫理」部会と「政治・経済」部会の委員で構成しており, 「合計」欄には計上していない。



【資料4】

① 教科科目第二委員会委員の構成等一覧(平成23～27年度)

部会名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
国語	8	8	8	8	8
世界史	8	8	8	8	8
日本史	11	11	11	11	11
地理	7	7	7	7	7
現社・政経	10	10	11	11	11
倫理	7	7	7	7	7
数学	9	9	10	11	10
工業数理基礎	4	4	4	3	2
簿記・会計	4	4	4	4	4
情報関係基礎	5	5	5	5	5
理科総合	8	8	8	5	
物理	9	9	13	13	10
化学	6	6	7	7	7
生物	5	5	8	8	8
地学	7	7	10	10	10
英語	8	8	8	8	8
ドイツ語	4	4	4	4	4
フランス語	4	4	4	4	4
中国語	6	6	6	6	6
韓国語	4	4	4	4	4
用字用語等	16	16	15	14	14
合計	150	150	162	158	148

② 教科科目第二委員会部会別開催日数等一覧(平成23～27年度)

部会名	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数
国語	5	14	6	16	4	12	5	13	5	15
世界史	3	15	4	17	5	17	4	17	6	24
日本史	3	9	3	9	3	9	3	9	5	13
地理	3	15	3	15	3	15	5	21	3	15
現社・政経	4	14	3	14	4	16	4	16	5	19
倫理	3	14	4	16	3	14	4	18	5	21
数学	3	10	3	10	3	12	5	14	3	10
工業数理基礎	6	13	6	14	4	9	3	6	1	2
簿記・会計	3	8	3	8	3	8	3	8	4	11
情報関係基礎	5	15	5	15	5	15	5	15	5	15
理科総合	3	12	3	12	3	12	1	4		
物理	4	12	4	11	4	11	4	11	3	9
化学	3	9	3	9	3	11	4	14	3	11
生物	4	11	4	11	5	18	5	18	4	13
地学	3	9	3	9	3	11	4	13	3	9
英語	5	15	5	16	5	15	6	20	5	18
ドイツ語	3	9	3	9	3	9	4	11	3	8
フランス語	3	7	4	8	4	8	4	9	3	7
中国語	3	9	3	9	3	9	3	9	3	9
韓国語	3	9	3	9	3	9	4	11	3	9
用字用語等	3	6	3	7	3	6	5	11	5	8
合計	75	235	78	244	76	246	85	268	77	246

## 【資料5】

## 大学入試センター試験 受験者数・平均点の推移（本試験）

教科・科目名		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
		受験者数	平均点	受験者数	平均点	受験者数	平均点	
国語	国語	502,525	117.95	516,153	101.04	503,587	98.67	
地理歴史	世界史 A	1,701	43.62	1,491	46.67	1,422	47.78	
	世界史 B	91,139	60.93	90,071	62.43	85,943	68.38	
	日本史 A	3,302	48.74	2,651	41.64	2,612	47.70	
	日本史 B	157,372	67.92	159,582	62.13	153,204	66.32	
	地理 A	2,695	47.42	2,253	50.09	2,028	51.76	
	地理 B	132,528	62.16	143,233	61.88	146,472	69.68	
公民	現代社会	105,570	52.10	83,471	60.45	77,825	58.32	
	倫理	35,537	69.01	36,151	58.83	33,761	60.87	
	政治・経済	57,224	57.99	51,888	55.46	48,363	53.85	
	倫理, 政治・経済	49,601	67.14	53,295	60.68	48,789	67.29	
数学	数学①	数学 I	7,186	40.18	8,135	40.83	7,187	39.65
		数学 I・数学 A	384,818	69.97	398,447	51.20	391,273	62.08
	数学②	数学 II	6,917	26.03	6,970	26.19	6,333	32.80
		数学 II・数学 B	349,438	51.16	359,486	55.64	355,423	53.94
		工業数理基礎	42	35.64	25	33.40	33	60.91
		簿記・会計	1,288	45.64	1,208	38.39	1,249	62.50
情報関係基礎	651	56.89	608	57.32	482	63.28		
理科	理科総合 A	15,270	67.92	12,805	44.75	9,172	48.23	
	理科総合 B	20,365	60.36	17,310	54.41	13,926	53.39	
	物理 I	152,853	68.03	159,644	62.70	160,823	61.64	
	化学 I	223,669	65.13	231,945	63.67	233,632	69.42	
	生物 I	189,214	64.00	195,815	61.31	188,400	53.25	
	地学 I	18,347	69.48	17,853	68.68	17,668	50.22	
外国語	英語	519,867	124.15	535,835	119.15	525,217	118.87	
	ドイツ語	125	144.10	123	151.54	147	155.36	
	フランス語	142	131.68	151	150.58	134	155.71	
	中国語	389	154.08	445	159.27	449	148.09	
	韓国語	151	146.36	180	140.29	161	144.82	
リスニング <sup>※</sup>	英語	514,748	24.55	529,440	31.45	519,172	33.16	

教科・科目名		平成27年度		
		受験者数	平均点	
国語	国語	501,415	119.22	
地理歴史	世界史 A	1,376	47.37	
	世界史 B	84,053	65.64	
	日本史 A	2,409	45.64	
	日本史 B	155,273	62.01	
	地理 A	1,843	51.40	
	地理 B	146,846	58.59	
公民	現代社会	76,698	58.99	
	倫理	30,740	53.39	
	政治・経済	45,300	54.79	
	倫理, 政治・経済	48,659	59.57	
数学	数学①	数学 I	5,277	32.38
		数学 I・数学 A	338,406	61.27
	数学②	旧数学 I	627	33.18
		旧数学 I・旧数学 A	53,118	70.33
		数学 II	4,944	23.83
		数学 II・数学 B	301,184	39.31
工業数理基礎	35	55.03		
簿記・会計	1,266	66.50		
理科	理科①	情報関係基礎	462	51.95
		旧数学 II・旧数学 B	51,700	49.90
		物理基礎	13,289	31.52
	理科②	化学基礎	88,263	35.30
		生物基礎	116,591	26.66
		地学基礎	41,617	26.99
外国語	筆記	物理学	129,193	64.31
		化学	175,296	62.50
		生物学	68,336	54.99
		地学	1,992	40.91
		理科総合 A	431	57.77
	リスニング <sup>※</sup>	理科総合 B	730	55.26
		物理 I	29,832	69.94
		化学 I	43,347	66.67
		生物 I	22,026	60.87
		地学 I	2,893	58.72
外国語	英語	523,354	116.17	
	ドイツ語	135	144.78	
	フランス語	142	148.28	
	中国語	427	158.63	
	韓国語	143	139.05	
リスニング <sup>※</sup>	英語	516,429	35.39	

教科・科目名		平成28年度		
		受験者数	平均点	
国語	国語	507,791	129.39	
地理歴史	世界史 A	1,449	42.07	
	世界史 B	84,131	67.25	
	日本史 A	2,472	40.81	
	日本史 B	160,830	65.55	
	地理 A	1,805	52.14	
	地理 B	147,929	60.10	
公民	現代社会	80,240	54.53	
	倫理	26,039	51.84	
	政治・経済	49,184	59.97	
	倫理, 政治・経済	48,709	60.50	
数学	数学①	数学 I	5,981	36.48
		数学 I・数学 A	392,479	55.27
	数学②	数学 II	5,782	27.76
		数学 II・数学 B	353,423	47.92
		簿記・会計	1,401	57.71
		情報関係基礎	539	56.21
工業数理基礎	4	54.25		
理科	理科①	物理基礎	18,304	34.37
		化学基礎	105,937	26.77
		生物基礎	133,653	27.58
	理科②	地学基礎	47,092	33.90
		物理学	155,739	61.70
		化学	211,676	54.48
外国語	筆記	生物学	77,389	63.62
		地学	2,126	38.64
	リスニング <sup>※</sup>	英語	529,688	112.43
		ドイツ語	147	130.92
		フランス語	140	151.04
外国語	リスニング <sup>※</sup>	中国語	482	158.02
		韓国語	174	128.05
リスニング <sup>※</sup>	英語	522,950	30.81	

(注1) 国語及び外国語(筆記)は200点満点, 外国語(リスニング)及び理科①は50点満点である。

(注2) 平成27年度の数値は, 得点調整後のものである。

## 【資料6】

試験問題評価委員会の分科会別委員構成一覧（平成23～27年度）

区分	評価対象科目名	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		自己点検	外部評価	自己点検	外部評価	自己点検	外部評価	自己点検	外部評価	自己点検	外部評価
分科会長※		(1人)	1人	(1人)	1人	(1人)	1人	(1人)	1人	(1人)	1人
国語	国語	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人
世界史	世界史A	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人
	世界史B		3人		3人		3人		3人		
日本史	日本史A	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人
	日本史B		3人		3人		3人		3人		
地理	地理A	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人
	地理B		3人		3人		3人		3人		
現代社会	現代社会	2人	4人	2人	4人	2人	3人	2人	3人	2人	3人
倫理	倫理	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人
	倫理、政治・経済										
政治・経済	政治・経済	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人
	倫理、政治・経済										
数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人
	旧数学Ⅰ 旧数学Ⅰ・旧数学A	—	—	—	—	—	—			—	—
	数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B	3人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人
	旧数学Ⅱ・旧数学B	—	—	—	—	—	—			—	—
工業数理基礎	工業数理基礎	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
簿記・会計	簿記・会計	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
情報関係基礎	情報関係基礎	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人
理科総合A	理科総合A	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	—	—
理科総合B	理科総合B	2人	4人	2人	4人	2人	4人	2人	4人	—	—
物理	物理Ⅰ	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	5人	—	—
	物理基礎、物理	—	—	—	—	—	—			2人	4人
化学	化学Ⅰ	3人	3人	2人	3人	3人	3人	3人	5人	—	—
	化学基礎、化学	—	—	—	—	—	—			2人	4人
生物	生物Ⅰ	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	5人	—	—
	生物基礎、生物	—	—	—	—	—	—			2人	4人
地学	地学Ⅰ	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	5人	—	—
	地学基礎、地学	—	—	—	—	—	—			2人	4人
英語	筆記	3人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人
	リスニング	2人	3人	2人	3人	2人	3人			2人	3人
ドイツ語	ドイツ語	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
フランス語	フランス語	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
中国語	中国語	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
韓国語	韓国語	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
合計		51人	84人	48人	84人	49人	83人	49人	91人	44人	79人

注）\*自己点検・評価分科会委員が兼任

## 【資料7】

大学入試センター試験（本試験）の試験問題の評価について

大学入試センター試験は、「大学に入学を志願する者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する」試験として実施されている。このことに照らし、試験問題評価委員会（外部評価分科会及び自己点検・評価分科会）は、本試験の試験問題について、以下の項目別（7項目）及び総合的観点から適切であったかを、枠内の評定値により5段階で評価した。

評価結果は、次ページのとおりである。

### 1. 項目別評価

- (1) 高等学校学習指導要領の範囲内から出題されているか（出題範囲）
- (2) 単に知識だけではなく、思考力や応用力等を問う問題も含まれているか（思考力）
- (3) 出題内容は、特定の教科書や特定の分野・領域に偏っていないか（出題内容）
- (4) 試験問題の構成（設問数、配点、設問形式等）は適切であるか（問題構成）
- (5) 文章表現・用語は適切であるか（表現・用語）
- (6) 問題の難易度は適正であったか（難易度）
- (7) 得点のちらばりは適正であったか（得点のちらばり）

### 2. 総合評価

1. の項目別評価を踏まえて、総合的に評価すると、大学入試センター試験の試験問題として適切であったか

（評定値）

- 5 あてはまる
- 4 ある程度あてはまる
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりあてはまらない
- 1 あてはまらない

「出題教科・科目別」の本試験における評価結果

試験年度		平成24年度試験			平成25年度試験			平成26年度試験			平成27年度試験			平成28年度試験		
教科名	科目名	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均
		国語	国語	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	4	5	4.5	4
地理歴史	世界史A	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	世界史B	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5
	日本史A	5	4	4.5	4	4	4.0	5	5	5.0	5	5	5.0	4	5	4.5
	日本史B	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	地理A	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	5	5	5.0
	地理B	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5
公民	現代社会	4	5	4.5	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	倫理	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	4	5	4.5	4	5	4.5
	政治・経済	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5
	倫理, 政治・経済	4	5	4.5	4	5	4.5	5	5	5.0	4	5	4.5	4	5	4.5
数学	数学 I	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	旧数学 I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	—	—	—
	数学 I・数学A	5	5	5.0	4	5	4.5	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	旧数学 I・旧数学A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	—	—	—
	数学 II	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	数学 II・数学B	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	旧数学 II・旧数学B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	—	—	—
	工業数理基礎	3	4	3.5	4	4	4.0	4	5	4.5	4	5	4.5	5	5	5.0
	簿記・会計	4	4	4.0	4	4	4.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	情報関係基礎	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0

試験年度		平成24年度試験			平成25年度試験			平成26年度試験			平成27年度試験			平成28年度試験		
教科名	科目名	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均	外部評価分科会	自己点検・評価分科会	総合評価の平均
		理科	物理基礎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	5
化学基礎	—		—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	4	5	4.5
生物基礎	—		—	—	—	—	—	—	—	—	4	5	4.5	5	5	5.0
地学基礎	—		—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	5	5	5.0
物理	—		—	—	—	—	—	—	—	—	4	5	4.5	4	5	4.5
化学	—		—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5.0	4	5	4.5
生物	—		—	—	—	—	—	—	—	—	3	5	4.0	5	5	5.0
地学	—		—	—	—	—	—	—	—	—	4	5	4.5	4	5	4.5
理科総合A	5		5	5.0	3	4	3.5	4	5	4.5	5	5	5.0	—	—	—
理科総合B	5		5	5.0	5	4	4.5	5	5	5.0	5	5	5.0	—	—	—
物理 I	5		5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	—	—	—
化学 I	5		5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	—	—	—
生物 I	4		5	4.5	4	5	4.5	4	5	4.5	5	5	5.0	—	—	—
地学 I	5		5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	—	—	—
外国語	英語(筆記)	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	英語(リスニング)	4	5	4.5	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	ドイツ語	5	5	5.0	5	5	5.0	4	5	4.5	5	5	5.0	5	5	5.0
	フランス語	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0	5	5	5.0
	中国語	4	4	4.0	4	5	4.5	4	5	4.5	3	5	4.0	4	5	4.5
	韓国語	3	5	4.0	3	5	4.0	4	5	4.5	4	4	4.0	4	4	4.0
	総合評価の平均	4.5	4.9	4.7	4.5	4.8	4.7	4.7	5.0	4.8	4.6	5.0	4.8	4.6	5.0	4.8
「4以上の評価を良問」として評価	科目	28/30	30/30	29/30	30/30	29/30	30/30	30/30	30/30	30/30	39/41	41/41	41/41	32/32	32/32	32/32
	科目	93%	100%	97%	93%	100%	97%	100%	100%	100%	95%	100%	100%	100%	100%	100%

## 【資料8】

### 東日本大震災による被災志願者への対応

#### ① 試験場の指定の特例

試験年度	平成24年度 試験	平成25年度 試験	平成26年度 試験	平成27年度 試験	平成28年度 試験
指定件数	5校 38人	2校 9人	1校 1人	0校 0人	0校 0人

#### ② 臨時試験場の設定（4試験場）

都道府県	試験場名		平成24年度 試験	平成25年度 試験	平成26年度 試験	平成27年度 試験	平成28年度 試験
岩手県	県立大船渡高等学校試験場	志願者数	283人	302人	309人	308人	284人
		受験者数	273人	287人	305人	303人	280人
	県立釜石高等学校試験場	志願者数	178人	186人	193人	192人	236人
		受験者数	171人	184人	191人	188人	231人
宮城県	気仙沼高等学校試験場	志願者数	225人	232人	244人	214人	212人
		受験者数	211人	226人	230人	204人	209人
福島県	県立相馬東高等学校試験場	志願者数	296人				
		受験者数	284人				

※ 平成24年度試験で臨時試験場としていた福島県立相馬東高等学校試験場は地元の要請に基づき、平成25年度試験から従前の福島県立原町高等学校に戻した。

#### ③ 検定料等の免除

試験年度	平成24年度 試験	平成25年度 試験	平成26年度 試験	平成27年度 試験	平成28年度 試験
申請者数	2,481人	2,489人	2,033人	1,861人	1,719人
免除者数	2,323人	2,329人	1,940人	1,756人	1,586人
免除総額	42,980千円	43,092千円	35,964千円	32,507千円	29,344千円

## 【資料9】

## 平成24～28年度大学入試センター試験受験上の配慮許可者数

## ・障害区分別内訳

障害区分	配慮事項	平成24年度 許可者数	平成25年度 許可者数	平成26年度 許可者数	平成27年度 許可者数	平成28年度 許可者数	
視覚障害	点字解答及び時間延長(別室)	連続方式	9	7	7	13	14
		音止め方式	3	3	2	2	2
	文字解答及び時間延長(別室)	連続方式	24	32	28	38	46
		音止め方式	4	6	3	7	3
	文字解答(別室)		9	12	9	16	11
	拡大文字問題冊子の配付	14ポイント	36	62	42	53	45
22ポイント		-	-	-	-	25	
その他(拡大鏡等の持参使用、座席指定等)		59	93	121	162	163	
聴覚障害	リスニングの免除	167	203	210	192	217	
	CDプレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方式等	165	184	142	126	172	
	手話通訳等の配置及び注意事項等の文書による伝達	56	64	56	57	67	
	注意事項等の文書による伝達	129	159	173	150	167	
	その他(補聴器又は人工内耳の装着、座席指定等)	488	582	570	555	632	
肢体不自由	チェック解答及び時間延長(別室)	連続方式	36	33	41	30	45
		音止め方式	3	5	2	4	9
	チェック解答(別室)	22	11	17	16	19	
	代筆解答及び時間延長(別室)	連続方式	2	2	3	5	4
		音止め方式	0	3	1	1	3
	代筆解答(別室)	1	0	1	0	0	
	別室の設定	33	40	41	37	26	
	座席指定	91	93	86	95	156	
その他(車椅子の持参使用等)※2	739	742	846	727	1030		
病弱	別室の設定	44	38	45	68	68	
	座席指定	19	26	34	46	44	
	その他(車椅子の持参使用等)※2	82	76	104	161	167	
発達障害	マークシート解答及び時間延長(別室)	連続方式	7	7	6	13	20
		音止め方式	0	2	2	2	4
	チェック解答及び時間延長(別室)	連続方式	4	4	4	4	5
		音止め方式	0	5	1	2	1
	チェック解答(別室)	19	26	25	16	23	
	拡大文字問題冊子の配付	14ポイント	7	11	13	13	13
22ポイント		-	-	-	-	3	
その他(別室の設定等)※3	145	164	237	196	236		
その他	別室の設定	827	1,013	879	842	850	
	座席指定	310	385	384	404	418	
	その他(車椅子の持参使用等)※2	489	530	583	499	608	
	合計	4,029	4,623	4,718	4,552	5,316	

※1 配慮事項が複数の項目に該当する受験者がいるため、本表の合計と左記の障害別内訳の合計とは一致しない。

※2 他に、試験場への乗用車での入構、杖の持参使用、付添者の同伴等

※3 他に、拡大文字問題冊子の配付、注意事項等の文書による伝達等

【資料 10】

調査研究成果の発表

事業年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
セミナー・シンポジウムの概要 開催日 場所 参加人数	研究開発部ワークショップ 応用統計学会と共催 「学力試験データの統計解析」 10 月 15 日 成蹊大学 79 人	第3回入学者選抜研究機構 セミナー 「大学入試を考えるー新しい 試験の開発ー」 9 月 8 日 NTT データ駒場研修センタ ー 160 人	研究開発部シンポジウム 「入試研究から見た高大接 続ー多様化する大学入試に せまるー」 8 月 8 日 NTT データ駒場研修センタ ー 182 人	入学者選抜研究に関する調 査室シンポジウム 「大学入試の日本的風土は 変えられるか」 11 月 29 日 東京工業大学 255 人	未開催
	第2回入学者選抜研究機構 セミナー 「大学入試を考えるー全入 学時代に入学者選抜は必要 かー」 10 月 1 日 日本教育会館 100 人	入学者選抜研究機構 国際シンポジウム 「グローバル化時代に大学 入学者選抜の未来を考える ー日本の 21 世紀ビジョンと 高等教育マスタープランの 策定」 11 月 18 日 有楽町朝日ホール 350 人	入学者選抜研究に関する調 査室シンポジウム 2013 大学入試サミット 「21 世紀の大学入試と教育 再生の展望」 11 月 16 日 NTT データ駒場研修センタ ー 74 人		
	入学者選抜研究機構 国際シンポジウム 「教育テストの可能性ー21 世紀型能力の育成と高大接 続」 11 月 18 日 有楽町朝日ホール 400 人				

## 【資料 11】

## 研究成果への評価：学会等からの受賞

事業年度	氏名	書名・論題 / 受賞
平成 23 年度 (2011)	濱中 淳子	書名 『大学院改革の社会学—工学系の教育機能を検証する』 東洋館出版社(2009) 受賞 第 4 回日本教育社会学会奨励賞受賞
平成 24 年度 (2012)	荘島 宏二郎	論題 Shojima, K. Otsu, T., Mayekawa, S., Taguri, M., & Yanai, H. (2007) Factor structure of the National Center Test 2005 by the full-information pseudo-ML method. Behaviormetrika, 34, 131-156. 受賞 第 27 回日本行動計量学会優秀賞
平成 25 年度 (2013)	内田 照久 橋本 貴充 鈴木 規夫	論題 センター試験の受験出願動向の推移と志願者の 2 層構造化 受賞 日本テスト学会大会発表賞 (第 7 回)
平成 26 年度 (2014)	濱中 淳子	書名 『検証・学歴の効用』 勁草書房(2013) 受賞 第 37 回労働関係図書優秀賞
	石岡 恒憲	論題 Investigations into Missing Values Imputation Using Random Forests for Semi-supervised Data, 受賞 The selected papers:, The 16th International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2014)
	南谷 和範	論題 A Wristwatch-Shaped Wireless Refreshable Braille Display Which Realizes Augmented Mobile Access for Blind Persons 受賞 2014 IEEE 3rd Global Conference on Consumer Electronics, Must-watch Creative DEMO! Award
	大津 起夫	論題 標準化英語試験とセンター試験英語科目得点との関係分析 受賞 日本テスト学会大会発表賞 (第 8 回)
	内田 照久 橋本 貴充 鈴木 規夫	論題 18 歳人口減少期のセンター試験の出願状況の年次推移と地域特性 -志願者の 2 層構造化と出願行動の地域特徴- 受賞 日本テスト学会論文賞 (第 8 回)
平成 27 年度 (2015)	桜井 裕仁	書名 「ブートストラップ入門」 共立出版 (平成 23 年) (「R で学ぶデータサイエンス」シリーズ 全 20 巻第 4 巻 共著) 受賞 第 8 回日本統計学会出版賞 (「R で学ぶデータサイエンス」シリーズ 全 20 巻)
	荒井 清佳	論題 多肢選択式問題を作成する上で大切なこと —問題作成の専門家に対する調査結果に基づいて— 受賞 日本テスト学会論文賞 (第 9 回)



【資料 12】

全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会の概要

	平成 23 年度(第6回)	平成 24 年度(第7回)	平成 25 年度(第8回)	平成 26 年度(第9回)	平成 27 年度(第10回)
期 日	平成 23 年5月 25 日～26 日	平成 24 年5月 31 日～6月1日	平成 25 年6月6日～7日	平成 26 年5月 29 日～30 日	平成 27 年5月 28 日～29 日
場 所	早稲田大学	岡山コンベンションセンター	国立オリンピック記念青少年総合センター	アイ・アイわて県民情報交流センター	東京電機大学
共 催	早稲田大学	岡山大学	首都大学東京	岩手大学	東京電機大学
セミナー 大会前日	緊急セッション 大学入学者選抜の危機対応 【大学入試センターセミナー】 発達障害の入学者選抜と高等教育への受入 (平成 23 年5月 24 日開催)	【大学入試センターセミナー】 テスト理論入門 (平成 24 年5月 30 日開催)	【大学入試センターセミナー】 人口減少期のセンター試験と受験 出願動向の実相 (平成 25 年6月5日開催)	【大学入試センターセミナー】 基礎的学力を測る一言語運用 力試験の開発一 (平成 26 年5月 28 日開催)	【大学入試センターセミナー】 大学入試と高校生の学習行動 (平成 27 年5月 27 日開催)
公開討論会	高校生の進路指導情報のあり方 ー高校が求める情報と大学が発信 したい情報ー	秋季入学を考える	受験対策学習ばかりを助長しない入 試改革や教育改革について	大学進学地域における現状と その改善方針について	大学入学者選抜の在り方につい て ー学力評価のための新テストの 導入を考えるー
テーマ指定討論会 (平成 23 年度まで)  企画討論会 (平成 24 年度以降)	第1テーマ 導入教育の理念とその現実  第2テーマ 1Rに基づく入学者追跡調査の 可能性を探る	企画討論会 新学習指導要領の導入:大学の 対応と課題	企画討論会 入試における評価尺度の多元化を 考える	企画討論会 高校教育・大学入試・大学教育 の関係再考	企画討論会①「英語入試」 グローバル化時代の英語運用 能力の育成と大学入試 企画討論会②「個別選抜」 各大学の個別選抜改革・再考ー 大学の主体性と個性をいかに反 映させるかー
研究会 発表件数	47件	42件	41件	34件	36件
参加者数 (大学数)	574人(212大学)	579人(189大学)	496人(180大学)	359人(150大学)	602人(178大学)

## 【資料 13】独立行政法人通則法に基づく情報公開実施状況

項 目	根拠法	実 施 状 況
役員の任命	通則法 第20条第4項	平成24年8月20日 新理事就任 平成24年8月24日 文部科学大臣へ理事就任を届出 平成24年8月 事務所に備え置きホームページに掲載 平成25年4月1日 新理事長就任, 理事再任 平成25年4月5日 文部科学大臣に理事再任を届出 平成25年4月 事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載
中期計画 ・年度計画	通則法 第30条第4項 第31条第1項	平成23年3月1日 文部科学大臣が理事長に中期目標を指示 平成23年3月1日 文部科学大臣に中期計画の認可申請 平成23年3月31日 文部科学大臣が中期計画を認可 平成23年3月31日 文部科学大臣に平成23事業年度計画を届出 平成23年4月 中期計画・平成23事業年度年度計画を事務所に備え置きホームページに掲載 平成24年3月30日 文部科学大臣に平成24事業年度計画を届出 平成24年4月 平成24事業年度年度計画を事務所に備え置きホームページに掲載 平成25年3月29日 文部科学大臣に平成25事業年度計画を届出 平成25年4月 平成25事業年度計画を事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載 平成26年3月28日 文部科学大臣に平成26事業年度計画を届出 平成26年4月 平成26事業年度計画を事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載 平成27年3月30日 文部科学大臣に平成27年事業年度計画を届出 平成27年4月 平成27事業年度計画を事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載 平成27年12月6日 文部科学大臣に中期計画の変更認可申請 平成28年3月1日 文部科学大臣が理事長に次期中期目標を指示 平成28年3月1日 文部科学大臣に次期中期計画の認可申請 平成28年3月28日 文部科学大臣が中期計画(変更)を認可 平成28年3月31日 文部科学大臣が次期中期計画を認可 平成28年3月31日 文部科学大臣に平成28事業年度計画を届出
財務諸表等	通則法 第38条第3項	平成23年6月30日 文部科学大臣に提出 平成23年11月10日 文部科学大臣が認可 平成23年11月 事務所に備え置きホームページに掲載 平成24年1月31日 官報公告 平成24年6月29日 文部科学大臣に提出 平成24年9月19日 文部科学大臣が認可 平成24年9月 事務所に備え置きホームページに掲載 平成24年11月12日 官報公告 平成25年6月28日 文部科学大臣に提出 平成25年10月8日 文部科学大臣が認可 平成25年10月 事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載 平成25年11月20日 官報公告 平成26年6月27日 文部科学大臣に提出 平成26年10月16日 文部科学大臣が認可 平成26年10月 事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載 平成26年11月28日 官報公告 平成27年6月30日 文部科学大臣に提出 平成27年9月2日 文部科学大臣が認可 平成27年9月 事務所に備え置くとともに, ホームページに掲載 平成27年11月6日 官報公告

役員給与規則 役員退職手当規則	通則法 第50条の2 第2項	平成24年3月1日	役員給与規則を一部改正
		平成24年3月30日	役員退職手当規則を一部改正
		平成24年5月1日	役員給与規則を一部改正
		平成24年5月18日	文部科学大臣に役員給与規則、役員退職手当規則を届出
		平成24年5月	役員給与規則、役員退職手当規則を事務所に備え置きホームページに掲載
		平成24年3月1日	役員給与規則を一部改正
		平成24年3月30日	役員退職手当規則を一部改正
		平成24年5月1日	役員給与規則を一部改正
		平成24年5月18日	文部科学大臣に役員給与規則、役員退職手当規則を届出
		平成24年5月	役員給与規則、役員退職手当規則を事務所に備え置きホームページに掲載
		平成24年12月26日	役員退職手当規則を一部改正
		平成24年12月27日	文部科学大臣に役員退職手当規則を届出
		平成25年1月	役員退職手当規則を事務所に備え置きホームページに掲載
		平成27年1月28日	役員給与規則を一部改正
		平成27年1月29日	文部科学大臣に役員給与規則を届出
		平成27年1月	役員給与規則を事務所に備え置くとともに、ホームページに掲載
平成28年3月2日	役員給与規則を一部改正		
平成28年3月31日	役員給与規則、役員退職手当規則を一部改正		
平成28年3月31日	文部科学大臣に役員給与規則、役員退職手当規則を届出		
平成28年4月	役員給与規則、役員退職手当規則を事務所に備え置くとともに、ホームページに掲載		

職員給与規則 職員退職手当規則	通則法 第50条の10 第2項	平成24年3月1日	職員給与規則を一部改正
		平成24年3月30日	職員給与規則、職員退職手当規則を一部改正
		平成24年5月18日	職員給与規則、職員退職手当規則を届出
		平成24年5月	職員給与規則、職員退職手当規則を事務所に備え置きホームページに掲載
		平成24年6月1日	職員給与規則を一部改正
		平成24年6月7日	文部科学大臣に職員給与規則を届出
		平成24年6月	職員給与規則を事務所に備え置きホームページに掲載
		平成24年12月26日	職員退職手当規則を一部改正
		平成24年12月27日	文部科学大臣に職員退職手当規則を届出
		平成25年1月	職員退職手当規則を事務所に備え置きホームページに掲載
		平成25年3月28日	職員給与規則を一部改正
		平成25年4月4日	文部科学大臣に職員給与規則を届出
		平成25年4月	職員給与規則を事務所に備え置くとともに、ホームページに掲載
		平成25年12月20日	職員給与規則を一部改正
		平成25年12月25日	文部科学大臣に職員給与規則を届出
		平成26年1月	職員給与規則を事務所に備え置くとともに、ホームページに掲載
平成26年3月31日	職員給与規則を一部改正		
平成26年4月4日	文部科学大臣に職員給与規則を届出		
平成26年4月	職員給与規則を事務所に備え置くとともに、ホームページに掲載		
平成28年3月2日	職員給与規則を一部改正		
平成28年3月31日	職員給与規則、職員退職手当規則を一部改正		
平成28年3月31日	文部科学大臣に職員給与規則を届出		
平成28年4月	職員給与規則を事務所に備え置くとともに、ホームページに掲載		

	文部科学大臣へ 届出／認可申請	官報掲載	事務所備え置き	ホームページ掲載
役員の任命	—	—	—	—
業務方法書	○	—	○	○
中期計画	○	—	○	○
年度計画	○	—	○	○
事業報告書	○	—	○	○（一部を除く）
財務諸表	○	○	○	○
内部 規則	役員給与規則 役員退職手当規則	—	○	○
	職員給与規則 職員退職手当規則	—	○	○

## 【資料 14】

### 独立行政法人大学入試センター人事基本計画について (平成 27 年 3 月 31 日理事長裁定)

独立行政法人大学入試センター（以下「センター」という。）の第 3 期中期計画に基づき、人事に関する基本的な計画を次のとおり策定し、人材の確保、育成及び適正配置を行うとともに職員の資質向上を図るため、大学等との人事交流を行う。

#### 1. 人材の確保について

- (1) センターの将来を担うプロパー職員の計画的な採用を図る。
- (2) 高い専門的資質能力を備えた人材の確保の方策を検討する。
- (3) 「障害者の雇用の促進等に関する法律」(昭和 35 年法律第 123 号)を踏まえ、取り組む。
- (4) 「男女共同参画基本計画(第 3 次)」(平成 22 年 12 月 17 日閣議決定)を踏まえ、男女雇用機会均等の推進に努める。

#### 2. 適正配置と人員の配分について

- (1) 組織の業務を精査し、必要に応じて組織の見直しを行い、センター全体として適正な人員の配分を行う。  
また、センターの業務の特殊性に配慮しつつ、必要に応じて外部委託等を活用するよう努める。
- (2) 業務の性質及び当該職員の能力・適性及び希望等を総合的に判断し、適切に職員を配置する。
- (3) 上位の職への登用に当たっては、適材適所によるとともに女性の登用に努める。

#### 3. 人材育成について

- (1) 職員の異動については、センターの将来を担う専門的知識を持つ人材を育成するため、計画的に業務を経験させる。  
なお、異動の時期については、専門的知識の習得に配慮するとともに、特定の部署に偏らないよう努める。

- (2) 研修計画を策定し、センター主催研修、OJT のほか外部団体の研修プログラムも活用し、階層別・業務別の研修機会の拡充を図る。
- (3) 大学入試及び学校教育特に大学教育に関し、職員が専門的な知識・理解を得ることを目的とした研修セミナーを開催する。
- (4) 職務に関連する知識の習得、資格取得を奨励する環境を整え、職員の自己啓発を促す。

#### 4. 人事交流について

- (1) 国立大学等と計画的に人事交流を行い、その実施の過程を通して、交流職員の広い視野を養うとともに資質向上を図る。

#### 5. 雇用環境整備について

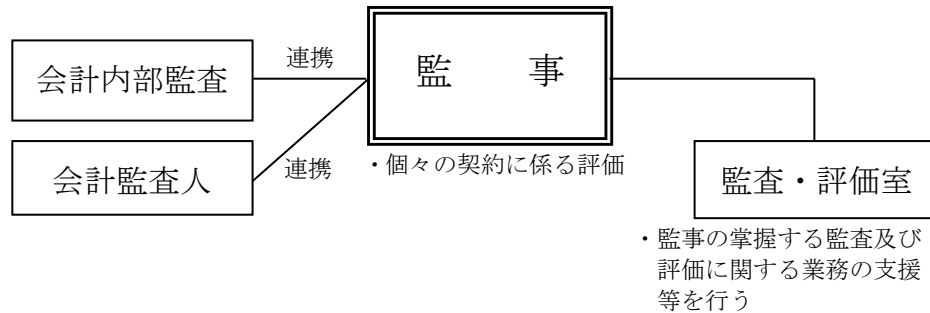
- (1) 「次世代育成支援対策推進法」(平成 17 年 4 月 1 日施行)を踏まえ、職業生活と家庭生活の両立のために、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の計画的使用について、積極的に取り組み、健康の保持・増進、ゆとりある生活の実現や業務能率の向上を図る。
- (2) 健康の保持増進  
職員の心身の健康管理対策の充実に努める。

#### 6. 給与水準について

- (1) 第 3 期中期計画期間中に地域・学歴勘案ラスパイレス指数が 100 を超えないように努める。

## 【資料 15】

## 監事監査のチェック体制図



## ○ 監事による個々の契約の合規制等に係るチェックプロセス

## (1) 月次監査

- ① 会計に関して毎月行う月次監査において、監査対象月に締結した 100 万円以上の契約について監査
- ② 個別具体的チェック方法
  - ・ 国と同じ少額随意契約基準額である会計規定を遵守し、一般競争入札等を実施しているか
  - ・ 少額随意契約基準額を超える随意契約の場合、会計規定の随意契約基準を遵守し、かつ真にやむを得ない場合であるか

## (2) 年次監査

- ① 国と同じ少額随意契約基準額を超える契約について監査
- ② 個別具体的チェック方法
  - ・ 国と同じ少額随意契約基準額である会計規定を遵守し、一般競争入札等を実施しているか
  - ・ 少額随意契約基準額を超える随意契約の場合、会計規定の随意契約基準を遵守し、かつ真にやむを得ない場合であるか